

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	3
事業名	在宅医療・介護連携推進事業（介護特会）	会計特会	款	項	目
			3	3	5
政 策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	健康長寿課		
施 策	3-3 高齢者福祉の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	目的（対象がどのような状態になっているか）	医療・介護・福祉の連携を図り、在宅医療の必要性や課題を検討する協議会を設置し、在宅医療を中心とした地域で包括的にケアを行うシステムを構築する。医療・介護・福祉等のネットワークを築き、在宅支援のシステムを構築することにより、高齢者が住み慣れた地域で最期まで安心して暮らし続けることができる。
事業内容		・地域医療・介護の資源の把握・・・「在宅医療・介護リスト」を作成し、他職種の連携強化を図る。 ・在宅医療・介護連携に関する相談支援・・・相談員を配置し、他職種の連携強化を図る。 ・地域住民への普及啓発・・・講演会、医療介護フェアなどを開催し、住民への普及啓発を図る。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B				2,453		2,919		7,135	
財源 内訳	直接事業費A			143		279		3,835	
	うち一般財源			143		64		883	
人件費（千円）B				2,310		2,640		3,300	
内訳	一般職員（人・千円）			0.35	2310	0.4	2640	0.5	3,300
	臨時職員（人・千円）			0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	・いなべ市と協働で引き続き事業を実施する。 ・いなべ医師会やいなべ総合病院等地域医療の中核機関への事業の移管をいなべ市と協働で進めていく。	③取組の課題	・在宅医療・介護連携支援センターとの連携と事業の進捗管理 ・いなべ市と協働で引き続き事業を実施する。
②R5年度に実施した取り組み	在宅医療・介護連携事業については、コロナ感染症も5類になり、集合研修を実施するなど継続して事業を実施した。 ・在宅医療介護連携支援センターのいなべ総合病院への移管に向けた会議を開催した。	④今後の改善計画	・在宅医療・介護連携支援センターとの定期的な会議の開催する。 ・いなべ市と引き続き事業を実施する。